

3月9日研修会報告

2012.3.28

作成 永峰 康孝

1. 研修内容

- 1) 演題：スキルスラボ・シミュレータを利用した指導者講習会
- 2) 講師：岩田 貴（医師）医療教育開発センター副センター長
- 3) 実習 参加者による体験実習
- 4) 期日：2012年3月12日（月）
- 5) 会場：第3・第4会議室、スキルスラボ
- 6) 時間：17:30～18:30

2. 参加人数

- 1) 総数：19名（5年以内 11名、5年を超える 8名）であった。
- 2) 職種別参加数
薬剤師 2名（5年以内 1名、5年超 1名）、栄養士 2名（2、0）、臨床検査技師 2名（1、1）、診療放射線技師 2名（1、1）、臨床工学技士（1、0）、理学療法士 2名（1、1）、作業療法士 2名（1、1）、言語聴覚士 1名（1、0）、視能訓練士 1名（0、1）、歯科技工士 2名（1、1）、歯科衛生士 2名（1、1）

3. アンケート

1) 回収率

19名のアンケートが回収できた。回収率は100%であった。

2) 研修会の内容

とても良かった	15名（78.9%）
良かった	3名（15.8%）
普通	1名（5.3%）
あまりよくなかった	0名
良くなかった	0名

3) 内容の理解度

よく理解できた	12名（63.2%）
理解できた	7名（36.8%）
普通	0名

あまり理解できなかった 0名

理解できなかった 0名

4) 良かった点

薬剤師①

- ・採血や聴診器を使用して実際に心臓の音を聴いてみたりして他職種の方々の業務を実際に体験できて意義のある研修と思います。

薬剤師②

- ・採血や血圧測定などをシミュレータを使って体験でき、医師や看護師の〇達?の診療業務の一端に触れることができた。
- ・高齢者体験スーツも一度体験してみれば、患者の状態を理解する助けになりそうです。

栄養士①

- ・実技体験ができた。
- ・こんなに充実していて、コメディカルも気軽に利用できると知らなかったので、知れて良かったです。

栄養士②

- ・実際に設備を利用できたため

臨床検査技師①

- ・各種シミュレータを実際に使用、見学できたこと

臨床検査技師②

- ・講義の後のシミュレータ使用の為、理解しやすかった。

診療放射線技師①

- ・スライドの説明もわかりやすかったし、実際の器具を使用しての実習で、さらに興味が持てた。

診療放射線技師②

- ・普段体験できないことを体験することができてよかった。
- ・アンギオの体験機器を導入させるみたいなので役に立つと思います。

臨床工学技士

- ・スキルラボの使用ができる点

理学療法士①

- ・普段見る機会のない貴重な体験ができました。ありがとうございました。
我々の教育はOJTに頼らざるをえない部分もありますが、可能であれば研修をお願いしたいと考えます。

理学療法士②

- ・吸引の方法、入っている場所が実際に見て分かると非常に理解しやすかった。

作業療法士①

- ・普段行うことができない吸引や採血を体験できてよかったです。また、お年寄り体験スーツのゴーグルを体験し、患者さんが実際どのような見え方をしているのかが分かり、今後リハビリを行う中で、指導方法に工夫・改善をすべきだと実感できました。

作業療法士②

- ・いろいろな機器を見たり体験できてよかった。
- ・日常業務では行わない採血など体験できてよかった。

言語聴覚士

- ・シミュレーターを使って、普段行っている手技（吸引、聴診）の確認ができた。

視能訓練士

- ・手技だけでなく業務全体の流れまでトレーニングすることが大切だと学べた。
- ・スキルラボのことが身近に感じられた。

歯科技工士①

- ・手軽に模擬ではあるが、リアルな医療体験ができるのはすばらしいと思った。
- ・臨床の手助けにもあるであろうし、新たな興味の源にもなりうると感じた。

歯科技工士②

- ・シナリオ次第で現実に近い実体験が繰り返しできることにより新たな可能性が見いだせる。
- ・部屋を含めて全てが清潔な環境にある。

歯科衛生士①

- ・様々な模型がたくさんあり、初めて採血の体験をさせて頂きました。他にも誤嚥性肺炎の音など、とても勉強になり、他の歯科衛生士達にも見てもらいたいと思いました。

歯科衛生士②

- ・たくさんの研修物品があるのに、その利用方法を知らなかったなので、スキルラボについて詳しく説明してもらえて有効な研修場所だと知ることができた。

5) スキルラボに対して（使用したいもの、購入して欲しいもの、やりたいこと）

栄養士①

- ・嚥下模型、嚥下テストの実技見学
- ・胃ろう、腸ろう造設やC Vポート留置などの実技見学
- ・末梢輸液のラインの確保、機械の設定など一連の流れ見学
- ・腸音（正常、イレウス）や肺音（誤嚥性肺炎）の聴取
- ・身体計測（上腕周囲長、皮下脂肪厚等）の測定実技など

栄養士②

- ・NSTの研修に利用したい
- ・栄養管理のスキル向上のため、嚥下のメカニズム模型、おなかの音をきける模型（今のものよりもバリエーションが多いもの）

臨床検査技師①

- ・聴診はソノグラファーには役立つと思ったが、臨床検査技師の仕事に特に役立つものはなかった。

臨床検査技師②

- ・保健学科の学生には役立つと思った。
- ・臨床検査技師の職種で特に使用したいと思うものはなかった。

診療放射線技師①

- ・動脈採血を練習する器具

臨床工学技士

- ・吸引の実習をしてほしい
- ・心カテのラボの使用がしたい
- ・人工心肺のシミュレーションができるラボ

理学療法士①

- ・えん下のメカニズム模型はぜひ導入していただいて、sputaの吸引等も合わせて研修をお願いいたします。

理学療法士②

- ・嚥下時の咽頭、喉頭の動き、誤嚥のシミュレーション等、姿勢による影響等が分かるような教材。
- ・半身動かない方麻痺体験スーツや半分視界がない半盲体験眼鏡など。

作業療法士①

- ・臨床に関わることの多い症状をシミュレータを使用して再学習、また、新人教育、実習生への体験に使用できればいいと思いました。

作業療法士②

- ・AEDや吸込など日常行わない事を体験できる機会もあれば良いと思った。

言語聴覚士

- ・嚥下のメカニズム模型をぜひ購入していただきたいと思いました。嚥下の仕組みがイメージできていない看護師さんも多いので、実習で一度でも見ておけば、臨床場面でも役立つと思います。

視能訓練士

- ・新人の研修に活用したい。；
- ・患者誘導の仕方や身体機能の不自由な人の体験はとても良いと感じた。
- ・視力障害者のシミュレーション具があれば貸し出し希望です。

歯科技工士①

- ・ 歯科、特に技工士からの目線だと利用できるものはない。歯科関係のものが一つもないのも残念であった。
- ・ 技工士はスキル向上としては正直現場で、模型を用いての演習は可能である。
対患者となると、技工士はいかに患者の顔線・口腔内の特徴を捉えるかということになるので、そこに精通するものがあれば利用する価値はあると思う。

歯科技工士②

- ・ 現状の設備では関わりが見出しにくい。
- ・ 歯科技工でスキルアップに必要とする機材がないと思われる。

歯科衛生士②

- ・ Qちゃんを实际使ってみないので、さらに詳しく知りたいと思いました。